

工学部 機械工学科 2025年度卒業
兵庫県 高等学校・工業（機械） 合格

松本 明さん

この度、兵庫県教員採用試験の高等学校・工業（機械）で現役合格することができました。

合格できたのは、教職課程の先生方、教職教育センターの方々をはじめ、教職課程や同じ学部の友人、家族など関わる全ての人のおかげでした。ありがとうございました。

さて、私が教員採用試験を受けるまでに行ったことなどについて述べていきたいと思います。

まず初めに、皆さんは卒業後どのような教員になっているか想像できますか。かなり気の早い考えではありますが、目標をもって挑むことが重要です。私は高校時代の時にお世話になった先生がいます。その先生を尊敬し、私も同じように絶対に教員になるという目標を入学時から立てていました。そのこともあり、大学の授業や教員採用試験の勉強に集中して取り組めたと考えています。まずは自分が卒業後どのような教員になっているかを考えてみて、そして強い意志を持って教職課程をはじめ様々な授業に取り組んでください。

次に、教員採用試験の勉強についてですが、私が学生の時に大学3年生受験が開始されることになったため、試験対策の勉強は2年生の1月から始めました。兵庫県では、筆記試験の過去問および模範解答が公開されているため、それらを入手して問題を解いていきました。一般教養については、基礎的な内容に兵庫県のことにリンクした問題が出されることがあり、専門科目の出題内容は教科書に載っていることが多いです。自分の受験する科目の教科書を見て勉強することも手段の一つです。教科書は教職教育センターや大学の総合図書館にそろっています。また、兵庫県は一次試験から集団討論があるため、試験前に前もって出されるテーマを確認して、自分の意見をまとめて書き出したりしました。自分の考えが明らかになることや、教採を受ける友人に見せて自分と違う意見を聞き、新たな考えを得ることもできるのでお勧めします。

兵庫県の二次試験は模擬授業と個人面接があります。これらは誰かに一度模擬授業などを見ていただいて講評をいただき、ブラッシュアップして改めて行う必要があります。3年後期あたりから教職教育センター主催の勉強会が開催されたので、勉強会に参加して面接・模擬授業のノウハウを教えていただきました。また、教職課程の山田先生が主催の教職ゼミに何度も参加し、試験対策をしました。教職ゼミは、奈良県野迫川村にある元々中学校だった場所で2日間程度、試験対策を集中して取り組むものです。山田先生をはじめ、実際に中学校、高校で教員をしている先輩方にも来ていただき、アドバイスを受けることができます。特にこの活動に参加したことが合格につながった一番の要因だと思います。

ここまで、試験対策のことについて説明しましたが、もし教員採用試験当日に体調不良になってしまうと積み重ねた努力が水の泡になってしまいます。そうならないためにも体調管理を徹底することも重要です。

最後になりますが、試験対策をはじめ教員になるためには、何事も早めに始めることが重要です。これを見た教員志望の皆さんは、さっそく自分の志望する自治体がどのように試験が行われているかなどについて調べてみるといいと思います。

それでは、皆さんと将来一緒に仕事できることを楽しみにしています。